



微笑みレポート

「おひさまきらきら えがおがいっぱいのなんざんようちえん」

港区立南山幼稚園の3月

<思いで深い一年間>

幼稚園の玄関先の梅もほころび、園庭の池にはカエルが産卵に訪れて春の訪れを知らせてくれています。

3月は、毎日が急ぎ足で過ぎていきます。友達と一緒に楽しく遊び、おもしろそうなことを発見し、興味をもったことを追求し、新しいことを体験し・・・様々な経験を通して、子供たちは心も体もひとまわり大きくなりました。

幼稚園の教育にご理解、ご協力をいただきました保護者・地域の皆様に感謝申し上げます。皆様のご支援を受けて、子供たちは充実した日々を過ごすことができました。

小学校の先生方のご協力のおかげで、交流授業などの機会を通して、子供たちは、小学校の生活への理解を深め、小学生と仲良しになりました。年長組は、小学校生活に期待感をもち、入学を楽しみにしています。



お別れ遠足

また、幼稚園の日々の触れ合いや遠足などの行事では、違うクラスの友達と触れ合いながら大好きになっていきました。年下のかわいい友達、年上の憧れのすてきなお兄さん・お姉さんとして互いに心を寄せ合い、一緒に過ごす時間を楽しみ、大切に過ごしてきました。

さて、3月16日、穏やかな日に修了式を行いました。幼稚園のみんなの祝福を受けて年長組の20人の子供たちは、幼稚園を巣立っていきました。小学校での活躍を楽しみにしています。

そして、3月22日の終業式の日には、年少組、年中組の進級式を行います。

年少「りんご組」と年中「ばら組」の子供たちは、「もうすぐ大きい組になる」という期待感で胸を膨らませて楽しみにしています。

4月には、たくさんの新しい仲間を迎えます。新年度も、「えがおいっぱい南山幼稚園」として、幼児一人一人の健やかな成長と、充実した日々になることを願っています。

この一年間、本園の教育にご理解、ご協力をいただきましたみなさまに、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。新年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



雛祭りお茶会



書道体験の作品が受賞しました

